



夢清らかに 今庄っ子

今庄小学校 学校だより 第11号 ~ 令和5年5月26日

町なみ写生大会

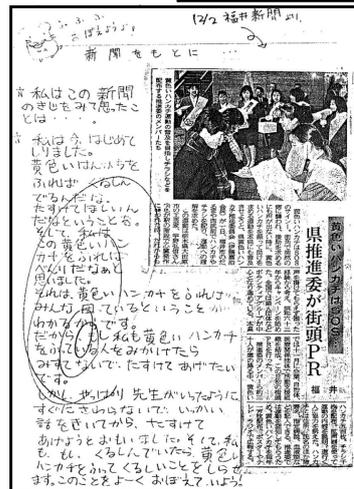
23日に5・6年生が町なみ写生大会を実施しました。今庄旅籠塾の方から今庄の町なみについての話を聞いた後、各自が選んだ場所を描きました。この写生大会に向けて、子ども達は図工の時間に遠近法の技法を使った描き方の練習をしました。画用紙いっぱい迫力のある建物を描く、見る角度を変えて建物を描くなどよく考えていました。その際、学習した遠近法をどのように取り入れるかを意識しながら活動していたようです。また、屋根瓦や垂木、看板、格子など細かいところまでよく観察し、丁寧に下絵を描き、少しでも素晴らしい作品にしようと取り組むことができていました。この日は、1時間ほどの時間でしたので下絵を描いて終わりとなりました。この後は、学校においてカメラで撮影した写真を元に下絵完成させ、色を塗る作業を行うこととなります。宿場町として栄えた今庄の町。その町なみを地域の人たちが協力し合って守り、保存に努めていってほしいです。子ども達には描くことを通して地域の人たちの思いを感じ、さらにはその昔ここに暮らした人々の生活、往来してきた人々、その賑わいを想像してもらえたらと思います。そして、私たちの町「今庄」に愛着と誇りを持てる心が育ってほしいと願っています。お世話になった皆さん、ありがとうございました。



NIE実践校

福井新聞でも紹介されていましたが、今年度も本校がNIE実践校として認定されました。NIE (Newspaper in Education=「エヌ・アイ・イー」と読みます) は、学校などで新聞を教材として活用する活動です。今、子供たちに求められているのは、地域や社会の中で課題を見つけ、解決のために行動する力を育むことです。たくさんの情報が行き交う社会で、正しい情報を見極め、読み解く情報活用力も大切です。新聞の強みは、事件・事故、政治、経済から文化、スポーツまであらゆる分野の情報が網羅され、その一つ一つの記事が複数の目による厳しいチェックを経て世に出ている、信頼性の高いメディアであることです。新聞を学校や家庭での学習に活用することで、社会への関心を高め、自分ごととして考えを深めることにつながります。この活動を通していろいろな視点で物事を見る力をつけてくれたらと思います。

右は今から20数年前に担任をしていたときに行っていた「進勉」(家庭での自主的な学習で自分が内容を考えて取り組むもの)のものです。ある子が新聞記事を見て、自分なりの考えを書いてきました。学校から与えられたものだけでなく、自分から主体的に取り組むことが本当の力になっていくのではないかと考えます。また、このおかげで担任をしていた私も勉強になりました。



読み聞かせ

25(木)に読み聞かせがありました。



<読まれた本> くれよんのくろくん



交通安全大王



注文の多い料理店